



村上海賊

“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島
—よみがえる村上海賊—

Marakami KAIZOKU の記憶—



日本遺産認定10周年

瀬戸内海の潮流を読み、海上交通を支えた村上海賊。戦国時代に活躍した彼らは、理不尽に船を奪い、金品を略奪する「パイレーツ」ではなく、航海の安全を守り、時には戦国武将の水軍として重要な役割を果たした“海の武士団”でした。「村上海賊」が日本遺産に認定されてから今年で10周年。尾道市では、因島水軍城での企画展や因島水軍まつりなど、歴史を身近に感じられる催しが行われます。

現代に残る村上海賊のものがたりを、この機会にたどってみませんか。

図文化振興課(☎0848-20-7425)

海賊どもが夢のあと 村上海賊の文化財

村上海賊が歴史に姿を現したのは、南北朝時代。因島・能島・来島の三家のうち、向島や因島に本拠をおいた因島村上氏ゆかりの城跡や文化財が今も残っています。



因島村上家伝来資料群 (因島)

しろむらさきひいとだんおどしはらまき しほん
白紫緋糸段緘腹巻、紙本
ちやくしやくむらかみしんくろうどよしみつぞう し
著色村上新蔵人吉充像、紙
ほんぼくしよいんのしまむらかみ け もんじょ
本墨書因島村上家文書など、
因島村上氏に伝来する貴重な資料が、因島水軍城に収蔵されています。



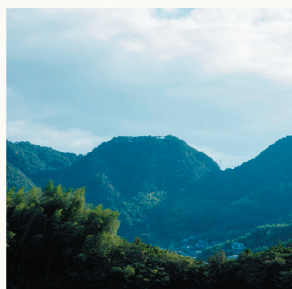
光明寺浪分観音(尾道)

千光寺山のふもとにある光明寺に、村上海賊の武将、島居資長が寄進した観音像です。海難を防ぐ浪分観音という異名で、海とともに暮らす人々の信仰を集めています。

あおかげじょうあと

青陰城跡(因島)

周辺にある海城との連絡場所だった山城です。因島村上氏が戦国大名と肩を並べるようになると、本城としての役割を果たしました。青影山の山頂にあり、島のほぼ全域と周辺海域が見渡せます。



鼻の地藏、美可崎城跡(因島)

美可崎城は因島の岬に築かれた海の関所であり、船隠しの入江などが今も残っています。その城の武将と船で通りがかった娘との伝説が、鼻の地藏として語り継がれています。



尾道市文化財愛護少年団コラボ企画 村上海賊について学ぼう！

☎市内在住・通学の小学5年生～中学3年生とその家族 ☑電子申請

○洋上セミナー

☑8月28日(金) 10:00～17:00

☑「CYCLESHP LazuLi」へ乗船し大島へ。能島村上氏の本拠地でもある国史跡「能島城跡」周辺の日本有数の潮流の体験し、村上海賊ミュージアムを見学します。また、船上でのロープワークなどを通じて、船や海について学びます。

○文化財バス

☑9月12日(土) 9:00～16:30

☑大型バスへ乗車し、しまなみ海道を南へ。因島水軍城、村上海賊ミュージアム、今治城を見学します。



▲詳しくはこちら

尾道・今治企画展

3施設を巡って村上海賊を“究める”

村上海賊については、様々な視点から研究されてきました。本企画展は、そうした様々な視点を「究める」ことにより、
解明されてきた各地の村上海賊の歴史文化について、関連資料をもとに紹介していきます。村上海賊ゆかりの場所散策
とあわせてお楽しみください。

企画展
1

「『海賊家』の流儀 —『三島海賊家軍日記』の世界—」

日 7月25日(土)～ 9月27日(日)

場 村上海賊ミュージアム(今治市)

海賊の子孫が書き残した「三島海賊家軍日記」。そのなかに見られる彼ら独自の海の作法や慣習、掟、そして考え方などを、関連する史料とともに紹介します。



企画展
2

「赤色立体地図から見た 因島村上氏の海城」

日 9月11日(金)～11月25日(水)

場 因島水軍城

因島村上氏に関係するとされる城跡は、尾道市だけでなく愛媛県上島町や福山市など、広範囲に確認されています。これらの城跡について、赤色立体地図や出土遺物、文献等により紹介します。



企画展
3

「戦国時代の港町尾道 ～毛利氏と豊臣氏との間で」

日 8月5日(水)～ 9月23日(祝)

場 おのみち歴史博物館

戦国時代、毛利氏と豊臣氏の間で揺れ動いた尾道と村上海賊。武器調達関連の資料や石山合戦以後を伝える「絹本着色顯如上人像」(尾道市重要文化財・円龍寺)など、様々な視点から紹介します。



人物でたどる因島の歴史

因島水軍城特別展

因島人物伝—村上海賊から造船まで

日 開催中～ 9月9日(水) 9:30～17:00

(最終入城16:30)

木曜日休城

料 大人500円、小中学生160円

因島水軍城では現在、戦国時代の村上海賊の武将だけでなく、因島の海運業や造船業の発展に尽くした人物「村上義弘」「村上新蔵人吉充」「新屋七三郎」「橘富太郎」「麻生イト」の5人を取りあげ、関連資料を展示して紹介しています。

講演会「因島人物伝—村上海賊から造船まで」

第72回文化遺産パートナー養成講座として、現在因島水軍城で開催中の特別展についてお話しします。

日 7月25日(土) 10:30～12:00

場 ポートピアはぶ多目的ホール

定50人

講師 西井 亨(文化振興課学芸員)

申 7月21日(火)までに電話で

申 因島観光協会(☎0845-26-6111)



因島水軍城で
「因島人物伝ゆかりの地マップ」を
配布中！

特別展にあわせて「因島人物伝ゆかりの地マップ」を作成しました。そのマップに隠れた文字を見つけていただくと、村上海賊のシールをプレゼントしています。

特別展を楽しみつつ、展示している人物ゆかりの地を巡ってみてはいかがでしょうか。

500年の時を越え、今よみがえる 村上水軍



因島
水軍まつり
INOSHIMA SUIGUN MATSURI

場 しまなみビーチ（因島大浜町）

因島水軍まつり実行委員会（☎0845-26-6212）

因島では村上水軍の活躍を再現した「因島水軍まつり」が本年も開催されます。伝令船「小早」を使った迫力満点の『海まつり』。各町で趣向を凝らし出陣式を行う『島まつり』。松明に照らされ繰り広げられる時代絵巻『火まつり』。地域に受け継がれる歴史と文化を見て、体験してみませんか。



海まつり
UMI-MATSURI

日 8月30日(日) 8:15~14:30(予定)

※悪天候の場合は9月6日(日)へ順延

村上水軍が伝令船として使用した「小早」に漕ぎ手14人と船頭、太鼓打ちの計16人が乗り込み、チームの和を競い合うレース。7月から練習を重ねた小早舟手衆の気迫が因島村上水軍の当時を彷彿とさせます。

当日は「体験小早(受付10:00~先着順)」や「掃海艦えたじま見学会」も実施します。



島まつり
SHIMA-MATSURI

日 9月20日(日)

因島や東生口の各町が趣向を凝らしたまつり。誇りある地域の代表武者により三献の儀や勝鬨などを行い、出陣式の氣勢をあげ、大浜の陣立てに集結します。



火まつり
HI-MATSURI

日 9月20日(日) 16:30~20:45(予定)

※悪天候の場合は大筒花火のみ翌日へ順延。

因島村上水軍の本陣を大浜に迎えるために、和太鼓の競演・水軍跳楽舞・大松明練り回しなどが行われます。松明の火で照らされた砂浜に村上水軍が集結。甲冑武者による陣形の披露や、小早隊の上陸など時代絵巻が繰り広げられ、まつりの最後には大筒花火が夜空を彩ります。

また、今年の水軍まつりも「有料観覧席~おまつり砂かぶり席~」等を販売します。

電子申請で



▲電子申請



因島村上水軍になりきれ3つの体験型修行参加者募集



其の壱: 体験小早

水軍随一の快速艇「小早」に乗船して権を漕ぐ体験をしよう！

日 7月26日(日)~8月23日(日)

毎週日曜日の12:30~14:00

定 1回10人程度

申 当日しまなみビーチへ直接お越しください。



其の弐: 武者出演

火まつりでの浜本陣に水軍甲冑武者になりきって出演しよう！甲冑は実行委員会の手配するので、手ぶら参加で大丈夫です。

日 9月20日(日) 16:30~

※申込方法など詳しくは因島水軍まつりHPを確認してください。

HP



其の参: 大松明担ぎ

火まつりで厄払いなどの意味を込めた「大松明」が練り回されます。この担ぎ手を募集します。

日 9月20日(日) 16:30~

※申込方法など詳しくは因島水軍まつりHPを確認してください。

HP

